

木のぬくもりを感じるイベントの開催について

令和元年7月30日、31日の2日間、井川町子育て支援多世代交流館「みなくる」において木にふれあう教室を、1日目は未就学児童、2日目は小学校低学年を対象として実施しました。今回の取組については、「みなくる」の依頼により実施しました。

当日は森林が持つ多様な機能を紙芝居を使ってわかりやすく説明した後、木のプレート・木の実等を使ってクラフト作業を行いました。また、「あきた森づくり活動サポートセンター」からお借りした木のおもちゃや「みなくる」所有のボールプールを設置し、遊びながら木のぬくもり等に親んでもらいました。



クラフト作業では、木でできたネームプレートや松ぼっくりなど木の実を使ったネームプレートやオブジェなど、私たちが想像していたよりも個性あふれる作品を作成していました。

今回は、初日13名、2日目37名の参加でしたが、このように木と親しむ機会の提供により、森林の役割や、木のぬくもりについて感じてもらえたと思います。

紙芝居では、日常生活の中で木が使われているものを子供たちに聞くなど、子供たちが自ら考えるような進め方としました。子供たちは改めて、机や床、えんぴつなど様々なものに木材が使われていると実感しているようでした。



最後に、木のおもちゃと紙芝居を貸し出していただいた「あきた森づくり活動サポートセンター」には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

